

沖縄を世界の「OKINAWA」へ

沖縄伝統空手と観光戦略を学ぶ、日系社会研修

第7回 世界のウチナーンチュ大会が開催され日系社会への関心が高まる中、沖縄の伝統空手や沖縄の特色を生かした観光戦略を学ぶ為に、JICA日系社会研修へ参加する総勢11名（ブラジル7名、ペルー1名、ボリビア1名、チリ1名、メキシコ1名）が来日します。

研修員は来日後、下記の2コースに分かれて研修を開始します。

- ・「ユネスコ無形文化遺産登録に向けた沖縄伝統空手の普及継承」
 研修実施団体：一般社団法人 国際沖縄剛柔流空手道連盟
 （ブラジル 5名）
- ・「沖縄のツーリズム・ストラテジー」
 研修実施団体：NPO法人 おきなわ環境クラブ
 （ブラジル2名、ペルー1名、ボリビア1名、チリ1名、メキシコ1名）

ユネスコ無形文化遺産登録を目指す「沖縄空手」。研修員は昨年度、遠隔研修を受講し、今年度、念願である「空手発祥の地」を訪れ、「世界の沖縄空手」を継承するために一カ月越えの研修に励みます。ツーリズム研修では、沖縄本島・離島の観光現場を巡り、沖縄が強みとする地域資源を生かした商品づくりやマーケティングについて、座学と体験を組み合わせることでバランスよく学びます。

<滞在中の主な日程> *変更される場合がございますので取材については事前にご相談ください。

・「ユネスコ無形文化遺産登録に向けた沖縄伝統空手の普及継承」研修 期間：2023/1/12～2/24 研修場所：那覇市、浦添市、豊見城市、横浜センター	1/12：開講式 1/13：沖縄県空手振興課表敬、空手会館視察 1/20～1/21：移民学習プログラム参加@横浜センター 2/2：出前講座 ～研修員が学校を訪問、自国の文化や習慣を紹介し学生との交流を図る～ 2/17：ふれあい講座 @JICA沖縄センター ～市民参加型講座～ 2/22：研修発表会 習得した空手の型の披露 2/24：閉講式 ※上記以外は空手実技研修
・「沖縄のツーリズム・ストラテジー」研修 期間：2023/1/12～2/9	1/12：沖縄の観光政策概要@県庁 1/20：観光と平和教育@旧海軍壕、ひめゆりの塔、平和記念公園

研修場所：沖縄本島、石垣島、
西表島、座間味島、渡嘉敷島

1/23：沖縄観光のマーケティング、ブランディング
@JICA沖縄センター

1/26：空手資料館見学、空手体験@空手資料館

1/31：星空ビジネスの可能性@渡嘉敷島

2/1：西表島における地域資源の活用@西表島

2/3：離島観光、事業者間連携の事例@座間味島、
渡嘉敷島

2/9：プロポーザルの発表@JICA沖縄センター

取材をご希望の場合は、下記までご連絡下さい。また、参加者への個別インタビューもア
レンジ可能です。

【本件に関する問い合わせ先】

「ユネスコ無形文化遺産登録に向けた
沖縄伝統空手の普及継承」

JICA 沖縄センター 研修業務課

喜納 美智子（きな みちこ）

[TEL:098-876-6000](tel:098-876-6000)（代表）FAX:098-876-6014

E-mail: Kina.Michiko@jica.go.jp

「沖縄のツーリズム・ストラテジー」

JICA 沖縄センター 研修業務課

大城 洋作（おおしろ ようさく）

[TEL:098-876-6000](tel:098-876-6000)（代表）FAX:098-876-6014

E-mail: Oshiro.Yosaku@jica.go.jp